

風おこしのちかい

フロリダからの便り

えひめ地域づくり研究会議 元運営委員 ヘロン 久保田 雅子



ウェールズの元気な女性たちと、カーディフで

炭鉱閉鎖の町に活気を取り戻した タイムダラー

ロンドンから列車を乗り継ぎながら3時間、深い緑に覆われた、起伏に満ちた山間地帯にウェールズの炭鉱の町がある。サッチャー首相の炭鉱産業消滅政策を受けて、83年から90年にかけてこの地域の鉱山は閉鎖され、ウェールズ南部で

タイムダラー普及のためのNPO法人を辞め、娘たちのいるフロリダに移住を決めた際、五十崎の亀岡さんに「始めたことは、続けることには…」と言われたのをはつきりと覚えてい。そこで、今回愛媛のタイムダラー活動を忘れず応援している一人として、私が訪ねた海外のタイムダラーについてご紹介したい。

は30ヶ所余が閉鎖、3万人の大量解雇が実施された。「20年前は後遺症を抱えた炭鉱夫たちの失業問題、真っ黒に汚染された河川などの問題をいっぱい抱えて苦しかった」とタイムダラーの世話役ドーンさんは語る。仕事を奪われ町をさまよう男たちを支え、励ましたのは地域の女たちだった。

閉鎖前は、煤で真っ黒な顔をした炭鉱夫たちが毎晩集まって、飲んだり、唄ったり、踊ったりした労働会館を復興する事業が、町の女たちの手で始まった。EUの助成金を受け、地域の集いの場所が復活したのだ。今では、昼間はデイサービス、カルチャースクールを実施し、夜はビアホールに大変身する。若者たちの要望でサウンドスタジオが完備され、ウェールズの各地からロックバンドが集い接戦のバトルが繰り広げられた。高齢者がパートナーになったり、ウエイトレス役で大活躍。3人の有償職員以外は、会館の企

画、運営などすべての人材費はタイムダラーで支払われる。そしてスタジオの借り賃、ビール・スナック代などと交換できるのだ。地域振興のツールとしてタイムダラーが多様なプロジェクトに組み込まれている。

地域福祉の拠点は リサイクルショップ

次に米国のボルティモア市で地域の高齢者たちを巻き込みながら、楽しくタイムダラーを展開している「パートナーズ・イン・ケア」をご紹介します。子育てが一段落し、さてこれから何をしようと考えたモリーさんと友人のサンドラさんは、

高齢者福祉の道を選び、先ずは大学院で社会学・地域福祉を専攻。卒業後、人手不足で売りに出していたリサイクルショップを購入し、高齢者たちの居場所づくりを始める。10年後の現在、



元気に働く高齢者



リサイクルショップの前で



高校生もボランティア

千八百人の会員が、地域の行政や企業と協働しながら、福祉送迎サービス、介護援助サービスなど高齢者や障害者に関わる事業をタイムダラーで進めている。中でも革新的な事業が「タイムダラー・リサイクルショップ」。延べ70人の高齢者が品物の回収をはじめ、修理、店舗のレイアウト、値付け、セールスなどを交代で受け持ち、サラリーはすべてタイムダラーで支払われる。そして得た点数は送迎や家具の修理、家の掃除など必要なサービスに利用できる。最近では高校

企業との協働作業

生のボランティアたちも参加してくれ、益々活気が出てきた。

愛媛県今治市関前でもおなじみの「だんだん」の立ち上げを手助けしたアナ・ミヤレスさんが、今度はニューヨークにある巨大な看護介護センターにリクルートされた。ニューヨーク市のメトロポリタン区域を中心に年間延べ二百二十万回の訪問を年齢に制限なくこなしているセンターである。最近、ニューヨーク市の外郭地域の要望で、訪問地区の拡大を図っているため、規模が大きくなり過ぎ、地域との連携がおろそかになり始めた。そこで「地域コネクション」部門を設置。アナたち、優秀なタイムダラースタッフをリクルートし、まずはパイロットプログラムを開始する地区を2ヶ所選択。次に地域のさまざまな団体や機関を訪問し、全国でのタイムバンクの事例を説明。役員たちの定例会だけでなく、お茶の会やポットラック・パーティーなど、人の集まる場所にはドンドン出かけていった。昨年の10月の中旬には、タイムバンクをワシントン・ハイツとブロンクスの一部でオープン。10ヵ月後には、50余名の会



デイサービスの子どもたち

員、30余の団体、40の企業が参加し、1時間のサービスにつきタイムダラー1点を取得する、助け合いの循環が始まっている。参加企業の役割は、レストランでの割引券、劇場への切符、中古のコンピュータ提供など、点数を楽しく

使える方法を提供している。

これまで日本では、近隣の助け合いを主に進めてきたが、より一層の広がり、運営の安定のためには、一歩進んで他の機関との協働運営や、企業のプロジェクトにタイムダラーをツールとして取り入れる方法を積極的に取り入れてはどうだろうか。11月のはじめ、今回紹介した米国・英国の事業を始め、スペイン、カリブ諸島など各国のタイムダラーが集う世界大会がウイスコンシン州で開催される。詳しくは <http://www.timebanks.org/> では、今年の秋は、ウイスコンシン州でお会いしましょう。

※タイムダラー

「この世の中に役に立たない人はいない。地域で埋もれているパワーを地域再構築の資源として活用しよう」。こんな考えのもと、米国の弁護士で、市民運動家のエドガー・カーン博士が考案したのがタイムダラーです。方法は「1時間のサービスで1点取得。貯めた点数で自分に必要なサービスを受けられる」という会員間での相互扶助のシステムです。米国、英国では総称して、タイムバンクと呼んでいます。